

## 与えられた表やグラフから情報を読み取ろう【地学】

川がどれくらい急であるかを比較する時には、河川縦断面図をつくります。

## [河川縦断面図の作り方]

- 1 地形図（地図で等高線が記入されているもの）を用意する。
- 2 河川が流れている部分で、等高線が横切っているところに印をつけ、等高線の数値（標高）を読みとる。
- 3 等高線間の距離（印と印の間の距離）を川の流れにそってばかり、河口からの距離を求める。
- 4 3ではかった河口からの距離を横軸に、標高を縦軸にして、図をつくる。

上の方法を用いて常願寺川の河川縦断面図をつくりました。表1は、地形図を読み取った結果です。例えば、地点Aは河口で、地点Aから地点Bまでの地図上で読みとった距離は40km、その間に標高は200m高くなっています。図1は、表1をもとにつくった河川縦断面図です。後の問いに答えなさい。

表1

| 地 点          | A | B   | C   | D   | E   | F    | G    | H    | I    |
|--------------|---|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|
| 標 高 (m)      | 0 | 200 | 400 | 600 | 800 | 1000 | 1200 | 1400 | 1600 |
| 等高線間の距離 (km) |   | 40  | 22  | 15  | 7   | 4    | 2    | 2    | 2    |

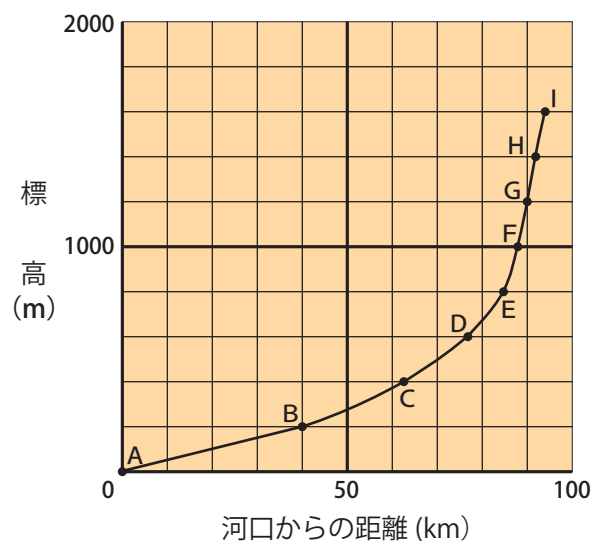


図1

# 問題

1 地点Bと地点Gの標高の差は何mですか。

2 地点Bと地点G付近の川の様子として、もっとも適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア Bの方が川幅が広く、水の流れはおだやかである。
- イ Bの方が川幅が広く、水の流れは急である。
- ウ Gの方が川幅が広く、水の流れはおだやかである。
- エ Gの方が川幅が広く、水の流れは急である。

3 ある川の河川縦断面図をつくるために、地形図を用意し、標高が50m高くなるごとに、等高線が川を横切っている所に印をつけ、表2にまとめました。

表2

| 標高 (m)       | 0 | 50 | 100 | 150 | 200 | 250 | 300 | 350 | 400 |  |
|--------------|---|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--|
| 等高線間の距離 (km) |   | 20 | 20  | 10  | 10  | 10  | 5   | 5   | 5   |  |

常願寺川とこの川を比較するとどのようなことがわかりますか。もっとも適当なものを次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 常願寺川とこの川は同じくらい急である。
- イ 全体として常願寺川の方が急である。
- ウ 全体としてこの川の方が急である。
- エ 上流では常願寺川の方が急で、下流ではこの川の方が急である。
- オ 上流ではこの川の方が急で、下流では常願寺川の方が急である。